

令和5年8月 日

川口市長 奥ノ木 信夫 様
(川口市議会議長 杉本佳代 様)
(川口市教育委員会教育長 井上 清之 様)

川口市退職校長会会長 南 勇

川口市教育の振興等に関する提言書

川口市長奥ノ木 信夫（市議会議長、教育長）様におかれましては、本市の教育振興のため、平素より格別のご努力をいただき深く敬意を表します。

今日、東日本大震災の影響及び新型コロナウイルスの感染が今なお続く日本の教育は、安心安全な教育環境の実現と教育基本法の理念を踏まえた改訂学習指導要領の実施等に向けて、様々な教育施策が展開されつつあります。本市におきましても、その具体的な施策が着実に進められておりますことはご同慶の至りであります。

しかしながら、激動する国内外の政治・経済・社会情勢の変革に伴い、学校教育に様々な課題やまた会員の生活上にも多くの不安を生じてきております。

学校においては、平成29年3月に告示された新学習指導要領は平成30年度から先行実施され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面実施となりました。さらに令和4年度から小学校において教科担任制が始まり、それに備えて教育活動の取り組みが鋭意進められております。また、情報化やグローバル化といった社会の変化の加速度的な進展により、人工知能（AI）による身近なものの働きがインターネットを経由して行われている時代が到来し、予測不可能な時代を創造的・自律的に生きる日本人の育成が求められています。一方、いじめ問題をはじめ児童生徒の健全育成や学力向上対策などの教育実践上の喫緊の課題に対する新たな要望も高まり、より一層学校・家庭・地域が連携・協力して絆を深め、社会全体で教育に取り組むことが求められております。

このことに関し、川口市退職校長会におきましては、全国連合退職校長会が掲げる「変化を恐れず創造の営みを間断なく実践する」との思いを強くし、別紙の事項の早急な実現について格段のご配慮をいただきたく要望・提言いたしますので、貴職のご高配とご指導・お力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、令和4年度の埼玉県退職校長会総会において会員の総意に基づき採択された「宣言」並びに「決議」を合わせて付記いたします。

記

- 1 退職校長の豊かな体験と能力を生かし、学校教育・生涯学習等の諸施策に、幅広く活用をお願いします。

- ・退職校長の教育にかかわる専門性を重視し、各種審議会、各種委員会等の委員への登用等人材の活用と、また退職校長の力量を生かすことのできる、管理職等への再任用の拡充をお願いします。

また、年金法の改正により年金の支給開始年齢が平成13年度より令和7年度にかけて60歳から段階的に65歳に引き上げられております。この点からも定年退職者の再任用・再雇用の制度等について一層のご配慮をお願い申し上げます。

- 2 ウイズコロナにおけるいじめの解消及び不登校撲滅のために一層のご配慮をお願いします。

- ・国は平成25年度に「いじめ防止対策推進法」を定め、いじめの撲滅にとり組み、本市でも各学校及び市をあげて「いじめ問題対策協議会」及び「いじめゼロ中学生サミット」等を設置し、いじめ防止にとり組んでおります。しかし、ウィズコロナを模索する中、子供たちの日常生活が戻りつつある等の環境の変化も加わり、依然としていじめはなくなり、市内小中学校はもちろんのこと、川口市教育委員会及び川口市を挙げて全体で取り組まねばならない状況です。令和4年12月末の小学校で4764件、中学校で810件生じております。

また、不登校児童生徒数も相変わらず多く、令和4年12月末の状況は小学校で262名、中学校で689名となっております。子供たちが安心して学業にとり組めるように、また子供たちの心を落ち着かせ安定した学校生活がおくれるよう抜本的な対策をお願いします。

- 3 教職員の指導力向上をめざして適切な予算措置をお願いします。

- ・令和4年度の全国学力・学習状況調査が実施され、本市・県・全国の平均正答率が明らかになりました。小学校6年国語は、県・全国平均を大きく上回り、中学校3年理科は全国平均とほぼ同じレベルでした。しかし、小学校6年算数・理科、及び中学校3年国語・数学は全国平均とほぼ同じレベルであるも県平均を下回りました。本市小・中学校の全国学力・学習状況調査結果が、昨年度に比べ全国平均を上回った小・中学校がともに増えたとは喜ばしいことです。但し、本市独自に行っている低学年の基礎的・基本的学力の定着度調査をみると

8割程度とのことであり、低学年の基礎的・基本的な学力強化が必要です。川口市の児童生徒の学力向上は、引き続きの課題であり今後も教職員の指導力向上のため、手厚い対応をお願いします。

また、体力面においてもコロナ感染症の影響で全国及び県ともに低下傾向にありますが、本市においてもその傾向は変わらず憂慮すべき状態です。そこで体力向上についても格段の対応をお願いします。

このような状況を踏まえ、例えば市内教員を学力調査並びに体力調査で例年上位の秋田県や石川県等に派遣したり、あるいはそれらの教員を招聘したりして指導を受けるなどの抜本的な対策をお願いいたします。また、そのための予算措置を是非お願いします。

4 川口市立高等学校及び附属中学校へ一層の支援をお願いします。

・本会が永年にわたって要望してきましたが、新川口市立高等学校は現在5年目を迎え、進学において国公立大学に50名の合格者を出すなど大きな成果を上げて躍進中です。また、令和3年度に川口の教育の中核拠点となる中高一貫校6年制の川口市立高校附属中学校が定員80名規模で開設されたことは誠に喜ばしく感謝申し上げます。

今後は川口市立高校が川口の教育の全体にわたるリーディング校として、更なる学力向上のために授業内容の改善、教師の質の向上などソフト面での財政支援をお願いします。また、中高一貫校2学級の新設に伴い、余裕教室の関係で理数科はもちろん普通科の極端な学級減をしないようお願いするとともに、附属中学校の教員を市費でも採用し一層の充実を図るようお願いいたします。

5 「川口市教育センター」の新設をお願いします。

・現在本市は60万人を超える人口をかかえ、小学校52校、中学校27校（川口市立附属中を含む）を有する県下最大の都市であります。しかしながら、それにふさわしい教育の中枢をなす教育センターがありません。20年以上前から検討され、平成12年の川口市教育改革では“新川口プラン”の大きな柱の1つとして、新教育センターの設置があげられ、市の重要事項にも毎年のようにあげられてきました。しかし財政難の折、その都度実施事業にはいたりませんでした。今や教育の担う役割は大きく、そのかじ取りをする重要な役目を教育センターが行っているのが現状です。平成30年度に新川口市立高等学校が設立されましたので、今後は是非教育センターの新設をお願いします。

6 退職公務員の生活を保障するため、共済年金受給者への給付の堅持と、高齢者医療制度の見直しによる負担増がないようご支援をお願いします。

・本退職校長会は埼玉県退職校長会及び全国連合退職校長会と共に全国退職公務員連盟等と連携し、公務員の年金制度改革に当たっては既に決まった年金は国が約束したことであり、生活権に関わるその権利を保証することを強く要望いたします。

また、年金一元化に伴う退職公務員の年金給付を堅持し、今後の年金対策については、公的年金に頼らざるを得ない高齢者の生活を圧迫するデフレ経済下での「マクロ経済スライド」による年金額の極端な抑制を行わないことを強く要望し、公的年金制度に関する国民的理解を深めるため啓発・周知を図る事業を一層推進するようお願いします。

以 上